

2015年9月7日掲載

口の外傷の処置

歯科医院 活用しよう

日常生活やスポーツを行う中で、ぶつけて歯が欠けたり、折れたり、抜けたりすることがあります。さらに、唇や歯ぐきを切って出血する場合があります。

出血している場合は、ガーゼなどで圧迫して止血を行います。歯が欠けたり折れたりした場合は、折れた破片がある場合は水に浸け潤った状態で歯科医院に持参します。欠けたり折れたりした歯は、場合によっては歯科用接着剤を用いてきれいに付けることができます。付けることができない場合は、破折片を参考にして専用の樹脂や人工の歯を接着したりかぶせたりして治します。折れた部分が歯髄（歯の神経）に達している場合は、歯髄の処置をしなければなりません。

また歯が脱け落ちた場合は、専用の保存液か牛乳に付けるか、保存液がない場合は口（唾液中）に含み、歯科受診します。30分以内であれば再植（元の位置に戻して固定すること）し元通りになる可能性があります。

歯の外傷は活動の活発な乳幼児や接触するスポーツを行う人に多くみられます。スポーツでの外傷の予防としてマウスピースをお勧めします。マウスピースはスポーツマウスガードともいわれ主に樹脂でできています。試合や練習中に装着して歯の損傷や口の中の裂傷を防ぎ、またボールなどの当たりから前歯を守ります。市販の物もありますが、やはり歯科医院を受診して自分の口にあったものを装着しましょう。